



名和小学校にて「伝統文化出張講座」を実施します

～地域に伝わる民俗芸能の伝承活動～

愛知県が平成23年度（2011年度）から実施している「伝統文化出張講座」の令和6年度（2024年度）実施校5校の内の一つとして、名和小学校で実施することが決まりました。

■日時

令和6年（2024年）6月17日（月）・24日（月）、7月1日（月）

■場所

東海市立名和小学校（東海市名和町山東10）

■対象者

小学4年生 4クラス（117名）

■内 容

子供たちが地域に伝わる民俗芸能（無形民俗文化財等）の奥深さを理解し、郷土の伝統文化を大切にする気持ちを高めるため平成19年度（2007年度）から実施し、平成23年度（2011年度）からは鑑賞だけでなく、子供たちが自ら民俗芸能を練習し、発表する「伝統文化出張講座」を実施しています。

地域の民俗芸能保存団体である「北脇祭囃子保存会」が小学校へ出向き、児童が「北脇祭囃子」を鑑賞するだけにとどまらず、練習し、発表するという体験を通じて将来の伝承活動につながるよう取り組みます。

■北脇祭囃子とは

秋の船津神社大祭で行われ、五穀豊穡の感謝として猩々（しょうじょう 想像上の怪物）を先頭に笛・太鼓を演奏して境内を練り歩き、奉納を行った後、境内にて猩々がバリン（竹を細かく切裂したもの）を持って子ども達を追いかけ、子ども達の体を軽く叩き、子ども達も猩々を叩いて祭を盛り上げる民俗芸能です。体を叩く理由は、邪気を払い、福と徳を与えるためと言われています。

■写真等



※写真は、令和5年（2023年）の祭りの様子

問合せ	東海市教育委員会 文化芸術課 担当：新美、上沼、小島 0562-38-7030
-----	---